

講義名	基礎技能A (数的処理 II)		
科目区分	教養基礎		
担当教員	川合 宏之		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限	授業形態	
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科/2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2019年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
<p>ビジネス社会では複雑な計算や大量のデータ処理にコンピュータを用い、多数のデータの中から役立つ情報を適切に読み取り、計算処理や論理的思考により分析し、様々な意思決定を行う。そのための数的処理能力は不可欠である。</p> <p>本講義では、民間企業において入社試験の1つとして、多くの企業で活用されている「SPI 試験」の対策の立て方を学ぶ。文系の学生が苦手意識を持ちやすい非言語分野を中心に頻出問題・必出問題についての基本的な解法パターンを学ぶ。自分の志望企業で社会人としてのスタートを切るためにも、民間企業就職を希望する学生の履修を勧める。</p>			

到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な計算処理及び論理的思考を理解し、数的問題の解を得ることができる。</li> <li>出題範囲を知り、基本的な解法パターンを身につける。</li> <li>得意分野と苦手分野を把握し、苦手意識を払しょくする。</li> </ul>			

提出課題			
<p>毎回、演習課題を与えるので、能動的に演習し数的問題の解を求めること。また、授業中に完成できなかった演習課題は、次回までに完成させておくこと。そして、次項に示す「準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間」に示した主体的学習を期待する。</p>			

課題 (レポートや小テスト等) に対するフィードバック			
<p>授業内で実施した演習課題等の解答・解説を行う。これにより自己採点と復習を可能とする。</p>			

評価の基準			
<p>平常点 (テキスト内容及びWEB講義受講を前提とした課題提出を含む) により評価する。</p>			

履修にあたっての注意・助言他			
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業を担当する株式会社東京リーガルマインドが事前にテキスト (4,400円税込) を販売する。販売日・方法を確認のうえ、各自購入すること。</li> <li>試験期間に試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。</li> </ul>			

教科書	
・事前販売 (販売日・方法を確認のうえ、各自購入すること)。	東京リーガルマイ 4400 ソンド

プリント資料及び参考文献	
必要に応じて授業の中で紹介する。	

授業計画	
第 1 回	数的処理の概要及び数学基礎 (受講ルール、方程式等の数学基礎、就職試験との関わり等)
第 2 回	方程式 (文章題の計算、方程式、数列等)
第 3 回	割合 (元の量、比べる量、割合、比率等)
第 4 回	損益算 (原価、売価、利益、損益、利益率、割引率等)
第 5 回	仕事算 (仕事の量と仕事の分担、仕事時間の計算等)
第 6 回	濃度算その 1 (全体量と当該物の量、濃度表、簡単な濃度計算等)
第 7 回	濃度算その 2 (各種濃度計算等)
第 8 回	速度算その 1 (時間・距離・速度、速度変化、時刻表等)
第 9 回	速度算その 2 (旅人算、追いつけ算、流水算、通過算等)
第 10 回	順列・組み合わせ (順列、円順列、組み合わせ等)
第 11 回	確率 (確率、コイン問題、サイコロ問題、くじ引き問題等)
第 12 回	命題 (命題、対偶、三段論法等)
第 13 回	集合 (集合、条件、グループ分け、キャロル表、線分図等)
第 14 回	資料の読み取り (表・グラフの読み取り、各種グラフの選択等)
第 15 回	学習のまとめ (既習事項の要点整理)
* 受講者数や状況に応じて講義内容やスケジュールは変更される可能性がある。	

授業形態 (アクティブ・ラーニング)	
ア	PBL (課題解決型学習)
イ	反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ	ディスカッション、ディベート
エ	グループワーク
オ	プレゼンテーション
カ	実習、フィールドワーク

準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間	
事前学習には 0.5 時間以上、事後学習には 0.5 時間以上の学習時間を確保すること。	

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	

実務経験の有無及び活用	
備考	
上記以外の担当者：株式会社東京リーガルマインド専任講師	